

雪は新しいエネルギー

めあて 雪エネルギーの利用について、具体的な事例とその利点をまとめ、筆者の主張と事例の関係を考えよう。

一 形式段落⑤(教科書五〇ページ十行目)から⑩(教科書五五ページ十行目)を音読しましょう。音読したら□に丸をつけましょう。

二 筆者があげている雪のエネルギー利用について、事例とその利点をまとめましょう。

	事例	場所	使い方	利点
1		<ul style="list-style-type: none"> 北海道むかわ町穂別 北海道沼田町、美唄市、()町 ()県 ()県 ()県 		
2		<ul style="list-style-type: none"> ガラスのピラミッド 国際メディアセンター 		

ヒント

教科書にのっている図やグラフも参考にしましょう。

三 筆者が、雪をエネルギーとして利用することを主張している理由を「化石燃料」「再生可能エネルギー」の特徴を比べながら考えましょう。

四 雪のエネルギー利用によって、筆者は、雪国の暮らしにどのような変化の可能性を考えていますか。また、どんな課題があるかといっていますか。

変化の可能性

() が削減されるだけでなく、() の削減にもつながる。

課題

・冬に降った() ()をどのように() ()。

雪は新しいエネルギー

めあて 筆者が取り上げている事例の順序を考え、なぜその順序にしたのか、筆者の意図を考えよう。

一 筆者は、雪のエネルギー利用の可能性を述べる時、昔の氷室↓現代の野菜貯蔵庫↓ガラスのピラミッド↓洞爺湖サミット↓新千歳空港の順で取り上げています。ここに筆者のどんな意図があるでしょうか。次の二つの書き出しに続けてまとめましょう。

身近で想像しやすい例から順に取り上げることで、

という意図。

古くからの利用のされ方から順に取り上げることで、

という意図。

二 筆者は、「雪の保存という課題」や「今後の課題」などにもふれています。

(1) 今後の課題について、形式段落⑳(教科書五八ページの五行目)をもとにまとめましょう。

①雪の利用が()に限られていること。

②雪の冷熱エネルギーがほかの()エネルギーに似て、エネルギーとして利用するときの()が低いこと。

③雪の()は容積がかさばるため、新たに導入するとき()がかかること。

(2) 課題を示すことは、筆者の主張にどんな効果にあたえているでしょう。次の書き出しに続けて考えてみましょう。

雪のエネルギー利用のよい点だけでなく、課題を示すことで、

という効果。

☆ 説明文では、取り上げる事例の内容や順序に筆者の意図がふくまれています。読み手に何を伝えようとしているのかをきえながら読みましょ。

雪は新しいエネルギー

めあて 新しいエネルギーに対する筆者の考えや説明の仕方について、自分の考えをまとめよう。

一 筆者の考えや説明の仕方について、これまでの学習を振り返りながら、自分の考えをまとめよう。

二 教科書六二ページの「言葉を学ぼう」にある「四字の漢字で表す言葉」を使って、短文を書きましょう。ただし、主語を必ず書きましょう。

三 教科書六二ページの「言葉を増やそう」にあるような「外来語を組み合わせた言葉」を、身の回りからさがして書きましょう。

四 教科書六三ページ「ここが大事」を音読しましょう。音読できたら□に丸をつけましょう。

ふり返ろう

- ・雪のエネルギーの利用例や、その長所と短所などをとらえながら、筆者が言いたいことをつかむことができましたか。
- ・筆者の説明の仕方特徴について、考えることができましたか。

◎・○・△

◎・○・△

主語と述語の対応をみる

めあて 主語と述語の対応を確かめ、文のねじれを正しく直そう。

一 次の文は、主語と述語が正しく対応していません。どのように直したらよいでしょう。条件に合うように書きましょう。

私の将来の夢は、病気で苦しんでいる人々を助ける医者になりたいです。

☆主語と述語を抜き出してみると、少し不自然な感じがしますね。

(1) 主語のまともりはそのままにして、述語を直す。

私の将来の夢は、病気で苦しんでいる人々を助ける医者に()。

(2) 述語はそのままにして、主語のまともりを直す。

()、病気で苦しんでいる人々を助ける医者になりたいです。

二 主語と述語が正しく対応した文にするには、どのように直したらよいか、考えてみましょう。

(1) 練習したおかげで、私は友達から「とても上手になったね。」と言いました。

□

(2) 私の短所は、一つのことになると夢中になると、ほかのことが見えなくなる。

□

(3) この本から学んだことは、練習をしっかりとやることの大切さを学びました。

□

☆ 文章を書くときは、主語と述語が対応しているかを確認しましょう。

☆ 一文が長くなるのは、主語と述語がねじれやすいので気をつけましょう。

☆ 国語の学習だけでなく、他の教科でも確かめられるといいですね。